

令和7年 6月16日(月)

第一回 「学校関係者評価」委員会 議事録

【出席委員】

清和地区民生委員 中村智子
児童クラブ支援員 菊永由起
ひまわり幼稚園保護者副会長 下田真奈美
会計 宮田めぐみ
園長 福留美智子
主幹 藤田順子

【会議次第】

1. 各評価委員の紹介
2. 園長挨拶
3. 園の現況報告

◆園児数について

保育部の現状は、保育内容の充実、保育士の人数から設定した数字である。

来年度から2号、3号児の枠が、110%に変更になることの通達を鹿児島市から受けている。

当園の2、3号児は現在58名、118%なので2名減らさないといけない。

◆てれじあDのクラスの設置

社会環境の変化から4年保育が主流となりつつある。3歳児入園が減少し、満3歳児クラスの入園が増加してきている。このような事を踏まえ、また成長過程においても保育部で保育士から細やかな援助を受けてきた環境と、幼稚園部の中で一人でやらなければならない環境とどちらも必要と考える。興味も色々と増えていき、自分でやりたい気持ちに適した環境を考慮したクラスを設定した。

◆園庭の環境

- ・日除け対策として遮光設備を考えた場合、園庭が狭いので許可されない。

建物の老化の為、建物には備えることはできない。鉄柱の数から考えても園庭の広さは難しい。

外遊びは、登園時の体力作りも兼ねて朝の涼しい時間帯に活動したり、熱中症 警戒アラートの確認をしたり、こまめな配慮を行っている。

- ・8月には登り棒の設置を計画している。

- ・幼稚園としての園庭の在り方を見直していきたい。

◆コドモンの配信

保護者アンケートより、子どもの園内での様子を知りたいという回答を受けコドモンを利用して配信を始めた。情報が拡散しないように配慮して、子どもの園生活を伝えていきたい。

- ◆子どもの安全を守る。また子どもが安心して生活が出来るように、成長に沿って時間や空間

を大事に関わっていきたい。

4. 児童クラブ

- ・今年度1年生の利用が多い。2、3年生が少なく、4年生の利用は無し。
- ・友だち同士遊ぶ姿が見られている。
- ・安全面を一番に考えている。7年前は乱暴な子どもの姿が多く見られたが、今年度は見られない。反面、周りを見ずに勢いよく走ったり、転ぶ際に手をつかずに転んだりする状況がある。顔の怪我が目立ってきている。

5. 放課後デイサービス

- ・月曜日放課後のみ活動 1年生は2学期から開始。
2年生、4年生の希望者が多い。10人縦割りのグループが8グループ、2学期からは1年生が加わって10グループの編成。
- ・活動の前半は学習の時間。グループ内で低学年と高学年の交流が見られる。
後半はゲーム等を通して子どもたちが楽しく遊んでいる。
- ・安全面の配慮を十分に行う。
 - ・しめ縄作りやヨガ、音楽鑑賞等、外部の方を招いての催し事も行っている。
 - ・アドバイザー6人、安全管理者4人、コーディネーター1人（11人中3人が校区外）で運営を行っている。

6. その他

保護者より下校後の遊び方や、危険を察知する能力についての発言があり、現場の状況から伝え合っただけで子どもたちの様子を知る。

- ・下校後の子どもたちは、公園で集まってゲームをしている。
- ・単純な鬼遊びや、ドッジボールが好まれている。
- ・おもちゃより、折り紙や、段ボール、紙を丸めること等を好んでいる。
- ・体幹の弱さ、遊びの中での体験の乏しさから危険を察知することが難しくなっているのではないだろうか。